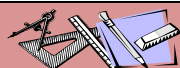


1 ポイント (特に工夫した項目に○ いくつでも)

作成者：木谷俊彦 (中学部)



教材教具の工夫

1 実態に合っているか?	○
2 ねらいが明確か?	○
3 興味関心を生かしているか?	○
4 シンプルで誰でも再現可能か?	○
5 一目で動作をイメージできるか?	○
6 児童生徒も教師も使いやすいか?	○
7 実際の生活や他の場面で生かせるか?	



3 教材教具のねらい

2 生徒の実態 (学級グループ)

・いろいろな物を叩くことでドラムの音を鳴らすことができる。

- ・おおすげ祭のステージ発表のパーカッショングループ。
- ・ギターを弾くことは難しいが、ギターのボディを叩いたりすることで音を出したい。

振動センサークリップを身の回りの物に繋ぎ、それを叩くことで、ドラムの音を鳴らすことができる電子ドラムを活用。

4 改善の経緯

<改善のポイント!!>

- ・本体内臓のスピーカーだと音がよく聞こえない。
- ⇒アンプスピーカに接続。

(1) 以前の生徒の様子

- ・ギターのボディを叩くことで、ドラムの音を鳴らすことができないか。
- ⇒ボディにセンサークリップを接続し、叩くことで音を出すことができた。

(2) 使用例と生徒の様子

<今後の改善や使用について>

- ・「ウン」「タン」のリズムに合わせて、ギターのボディを叩き、演奏することができるようになった。
- ・楽しみながら練習に取り組む姿が見られた。

- ・どんな物に繋いでも音が出せるので、動作面において可動域が狭い生徒や自立活動においても活用が期待できる。

